



The grid consists of nine smaller images, each representing a different department or area of the hospital:

- 療育指導室 (Therapeutic Guidance Room):** Staff members in blue scrubs and masks are shown making hand gestures.
- 手術室 (Operating Room):** Staff members in surgical scrubs and masks are performing hand hygiene exercises.
- 放射線科 (Radiation Therapy Department):** Staff members in white lab coats and masks are making hand gestures.
- 10病棟 (Patient Room 10):** A large group of staff in white scrubs and masks are making hand gestures.
- 6病棟 (Patient Room 6):** Staff members in white scrubs and masks are making hand gestures.
- 外来 (Outpatient Department):** Staff members in white lab coats and masks are making hand gestures.
- リハビリテーション科 (Rehabilitation Department):** Staff members in white scrubs and masks are making hand gestures.
- 3病棟 (Patient Room 3):** Staff members in white scrubs and masks are making hand gestures.

Each image includes text indicating the month (2020年10月), the hospital name (下志津病院), the theme (手指衛生強化月間), and the slogan (感染を防ぐのはあなたの手). There are also small diagrams illustrating handwashing steps.

毎年10月の手指衛生強化月間では、各部書のスタッフの写真入りのポスターを掲示しています！みんなの「元気な笑顔」と「キレイな手」をご覧ください！

## Index

病院長新年のごあいさつ	2
新型コロナウイルス感染症	3
リモート面会	4
職場の紹介 10病棟	5
お薬手帳を活用しましょう	6
名誉院長叙勲伝達式	7

## 理念

患者さま一人ひとりを大切にする医療を目指します。



独立行政法人 国立病院機構  
**下志津病院**

# アフターコロナの時代に向けて

下志津病院院長 重田 みどり



新年あけましておめでとうございます。

今年は緊張感のある年越しであり、こうして新しい年を迎えたことをいつも以上に皆様と喜びたいと思います。

昨年は、新型コロナウイルスの流行により、皆様にとっても不安な1年間だったと思います。私達もこのウイルスとずっと戦ってきました。そしてその戦いは今も続き、職員は職場内での感染対策に努めるとともに、職場外での感染にも気を付けて生活しております。そのおかげで、当院では院内クラスターの発生なく今日までくることができました。このすばらしい職員を誇りに思います。

終わりのないパンデミックはありません。必ずいつかこの新型コロナウイルスの流行は終わります。皆で協力して医療崩壊を避けながら対処していき、ワクチンによる集団免疫が獲得されれば収束に向かうことでしょう。

昨年、当院では患者さまが安心して受診できるように、空気清浄機、陰圧装置、AI搭載のハイテク検温システムなどを設置しました。また、発熱などの症状のある患者さまと予約患者さまの導線を分け、院内感染防止に努めています。さらに、外部との会議や研修会はすべてWeb方式となりました。また、一部の診療科で電話診療を取り入れ、筋ジストロフィー病棟ではリモート面会を実現しました。

アフターコロナの時代にも、この電話・オンライン診療、リモート面会は残ることでしょう。オンライン診療が進めば長い待ち時間の解決策になると思います。4月からマイナンバーカードが保険証として使えるようになり、その先には、お薬手帳、健診結果などもカード内に記録できる時代がくることでしょう。

どんな時代がきても、当院は地域から望まれる役割を果たし、患者さま一人ひとりを大切にする医療をめざしていきます。当院を選んでくださっている患者さま、当院にご紹介してくださる医療機関の皆様方のおかげで当院の今があります。今後も皆様の信頼にこたえるべく、職員一同、力を合わせて下志津病院の未来を築いてまいりますので、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願ひ申し上げます。



# 新型コロナウイルス感染症の「基礎知識」と「感染対策」について

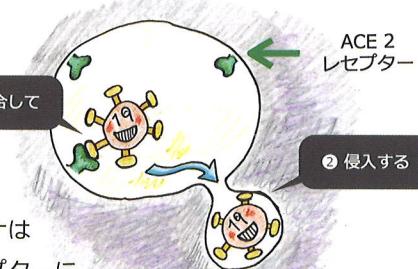
病院の職員は全員必ず、年に2回「院内感染対策研修会」を受講しています。今年度については、そのうちの1回を「新型コロナウイルス感染症」について「スライド視聴」形式で学ぶ研修会としました。以下に使用したスライドの一部を抜粋します。皆さんのが新型コロナウイルス感染症に関する「基礎知識」と「感染対策」についての理解を、すこしでも深める一助になれば幸いです。

(感染防止対策室)

コロナは皮膚から  
感染する？



①結合して



②侵入する

コロナは  
レセプターに  
結合して侵入する



- レセプターがあるのは
- ・結膜
  - ・鼻粘膜
  - ・口腔粘膜
  - ・舌など

皮膚は  
天然のバリアー

90% リスク



30% リスク



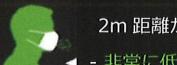
5% リスク



1.5% リスク



0 % リスク

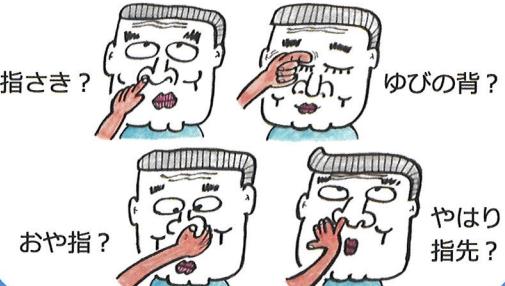


2m 距離があれば

- 非常に低リスク -

コロナをレセプターに直接運ぶのは  
「自分の手」

あなたはどうやって目や鼻を搔きますか？※



一番あちこち触って危険なのは、  
指先と親指です！手のひらだけを  
ちゃちゃっとこすりあわせるだけ  
では、一番病原体がついている所  
が消毒されません！歌で手順を覚  
えて、きちんと消毒しましょう！



鼻が出ていたら  
マスク着用の意味が  
ありません！



話す時にマスクをずらす  
のも、絶対にやめて！  
話す時こそしっかり装着！



# リモート面会について

療育指導室長 吉田 誠

2020年ほど予定や計画を変更したり我慢したりすることが多い年はなかったと思います。当院には長期療養の患者さんも多く、ご家族の中には毎日面会に来られる方も少なからずいらっしゃいます。家族や知人に会うことは自由に外出ができない患者さんにとって大きな楽しみです。ご家族にとっても患者さんの様子が見られないことは不安にもつながります。しかし新型コロナウィルス感染症の流行に伴い、当院では令和2年3月から面会制限を開始しました。その後、地域の状況を考えながら面会に関する取り組みを行ってきました。



重症心身障害児者病棟では3月に中止にした面会を6月には時間や場所を制限し予約制として再開しました。たくさんの予約があり日程調整は大変でしたが、患者さんとご家族に喜んでいただきました。しかし、8月には地域での感染者が増えたために、再び面会は中止になり現在に至っています。現在は直接の面会はできないものの、病棟入り口で距離を確保しお顔を見ていたり、カメラで写真や動画撮影をお手伝いしたりしています。ご家族からは「直接ふれ合いたいが顔を見るだけで安心する」「誕生日に撮って貰った動画を毎日観ている」「今は我慢しなくちゃね」などの感想が聞かれています。また、病棟での患者さんの様子を写真とお手紙でお知らせする取り組みも実施しています。

筋ジストロフィー病棟では、人工呼吸器使用の患者さんも多いため、3月から面会は中止となっています。そこで、7月からパソコンを使用しての「リモート面会」を実施しています。リモート面会は、実施可能な日時を事前にお知らせし希望日を調整します。ご家族には院内のパソコンを設置した部屋に来ていただき、病棟やベッドサイドの患者さんのパソコンにつないでお話しをします。患者さんは画面



越しのご家族に緊張しながらも笑顔でお話をしたり買い物をお願いしたりと久し振りの面会を楽しむ様子がみられます。家族水入らずの15分間はあっと今に過ぎてしまいます。

患者さん、ご家族ともに面会の再開を心待ちにしていますが、感染のリスクを考え辛抱しています。私たち職員は新しい生活様式を意識しながらも柔軟な発想で患者さんやご家族のお気持ちに応えられるよう支援を行っていきたいと考えます。

# 職場紹介

10 病棟看護師長 宮下 恵美子

副看護師長 辻 雪江・倉内千賀子

10 病棟は重症心身障害児（者）の患者様が入院されている病棟です。患者様は日常生活においてすべて援助を必要とされ、行われる援助は一人ひとり異なります。食事摂取の場面一つでも、口から食事を摂取される方、胃ろうなどの経管栄養を行っている方がいます。介助の際は、体位や食べる順番、一口に運ぶ大きさなど患者様の個性に合わせて行うことを大事にしています。コミュニケーションの場面でも、自分の思いを訴えることができる方や言葉として伝えることができない患者様もいます。看護師は、患者様の表情やしぐさから思いを読み取りながらコミュニケーションをとっています。

現在、コロナ禍によりこれまでとは異なる環境の中で過ごされている患者様やご家族の方に少しでも安心していただけるように他職種と連携をとり、様々な工夫を行っています。毎日の療育活動や支援学校の授業は、感染対策を行いながら体育祭やクリスマス会などの行

事を行っています。日々の患者様の看護を行う中で、患者様の笑顔が私たちの原動力となっています。ご家族の方には、行事の写真や受け持ち看護師からメッセージを送らせて頂き、ご家族の方からの心遣いのお返事をいただきスタッフ一同、温かい気持ちにさせていただきました。これからも患者様、ご家族の思いに寄り添う温かい看護と「笑顔のあふれる病棟」を目指し、スタッフ一丸となって頑張っていきます。



# お薬手帳を活用しましょう！

薬剤部

## お薬手帳ってどんなもの？

いつ、どこで、どんなお薬を処方してもらい、どのように服用しているのか、お薬によるアレルギー歴などについて記録しておく手帳のことです。

\*こんな時にとても役に立ちます。

- ・旅行先で急に具合が悪くなり、医療機関を受診する時
- ・薬局やドラッグストアで市販薬を購入する時
- ・転居して、新しい医療機関を受診する時
- ・休日診療所や救急病院を受診する時
- ・災害にあった時



\*お薬の名前と飲み方が思い出せない状況でもお薬の内容を容易に確認することができます。

\*「お薬手帳」を見せるだけで、あなたのアレルギー歴や副作用歴などの他いつも飲んでいるお薬との飲み合わせも確認でき、お薬の重複や思わぬ副作用の回避にもつながります。

特に災害時に「お薬手帳」があると、どんな薬を飲んでいるかがすぐに分かるため診察しやすくなり、お薬をスムーズに処方できます。実際に、東日本大震災や熊本地震でも役に立ちました。



Q. いつも同じ薬しか飲まないけど、本当に  
「お薬手帳」は必要なの？

はい、大切です。

\*同じ薬を継続している場合でも、現在飲んでいる薬がひと目でわかるようにする事が大切です。

\*他の医療機関を受診したり、薬局で薬を購入したりする際に「いつもの薬といっしょに飲んでもよいか」を確認してもらいます。

例えば…

A 総合病院（内科）、B 整形外科クリニックに定期的に通っている方が、歯の治療のために今回初めてC 歯科医院を受診する場合に、新しくもらう痛み止め等と普段飲んでいる薬の飲み合わせを確認してもらって、安心してお薬を飲むことができます。



☆医療機関を受診する場合は、必ずお薬手帳を持参しましょう。

☆複数の医療機関を受診している場合もお薬手帳は一冊に統一しましょう。

# 西牟田敏之名誉院長「瑞宝中綬章」

## 受章おめでとうございます

庶務班長

令和2年春の叙勲の受章者が、令和2年4月21日(火)の閣議で決定され、同年4月29日(水)付で発令されました。厚生労働省の関連では480名の方が受章され、その1人が当院名誉院長である西牟田敏之先生で、瑞宝中綬章を受章されました。

例年、春の叙勲については、5月上旬に勲記・勲章等の伝達式が都内にて行われていますが、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、伝達式は中止となり、病院から受章者に伝達するよう指示を受けたため、遅くはなりましたが、令和2年8月5日(水)に当院院長室にて西牟田名誉院長の叙勲伝達式が執り行われました。

先生の長年の功績が認められ、栄えある受章をされたこと、職員一同、心から喜んでおります。また、更なる責務やご多忙なこともあろうかと思いますが、これからもお元気でご活躍されますよう心からお祈り申し上げます。

(伝達式風景／院長室にて)



(記念撮影)



■受付時間■

8:30~11:00

# 外来診療担当表

独立行政法人 国立病院機構 下志津病院  
令和3年1月1日~

区分	月	火	水	木	金
内科	● 杉本 古川 ○ 富澤 伊藤 大野(PM)	杉山 篠崎 ○ 古川 末石 横山(AM)	吉田(隔週) 古川 富澤 伊藤 杉山	杉山 杉本 ○ 杉浦 眞山(快)	● 杉山 杉本 ○ 交代制 乗本(綾)(AM)
アレルギー科(成人) (喘息)					岩本(AM)
睡眠時無呼吸外来※			梅岡(PM)(第2・4のみ)		
禁煙外来※			鈴木(修)(15:00~16:00)		
脳神経外科	丹野	石毛	深谷	丹野	深谷
神経内科		本吉/三方	本吉		本吉/三方
小児神経科※	大森(再来のみ)		石原	大村	
小児科※	一般 喘息・アレルギー  立石 渡辺 鈴木(修)(AM) 交代制 (女子医大)	一般 喘息・アレルギー  富板(予約のみ) 重田 仲村 佐藤(一) 鈴木(由)(PM)	一般 喘息・アレルギー 代謝・肥満  山本(重) 鈴木(修)(AM) 鈴木(由)(AM) 天野 玉地	一般 喘息・アレルギー 腎臓・肥満  富板(予約のみ) 渡辺 中村(文) 佐藤(一) 交代制 (女子医大)	一般 喘息・アレルギー 腎臓・肥満  関谷 石原 中村(文) 鈴木(修) 須藤
		小児腎臓病 松村(PM) (第1のみ・予約のみ)		小児膠原病 富板(PM) (初診予約のみ)	
外科	白井	一木	一木	長谷川(留) (予約患者のみ) 白井	白井 (予約患者のみ) 長谷川(留)
整形外科	山中 玉井 佐藤(崇) 江口	鈴木(宗) 玉井 高野	交代制 (9:30から診察開始)	(小林) 高野 山中	鈴木(宗) 高野 江口
リハビリテーション科	三方(指定する日)				

- ※ 小児神経科の初診の方
- ※ 小児科の食物アレルギー・アトピー性皮膚炎・気管支喘息の紹介状をお持ちの方
- ※ 小児膠原病(初診予約のみ)は毎週木曜日14:00~15:30に行います。
- ※ 睡眠時無呼吸外来は、1日5名までの完全予約制ですので地域医療連携室へお問合せ下さい。
- ※ 禁煙外来は完全予約制ですので地域医療連携室へお問合せ下さい。
- ・ 精神科・皮膚科・歯科・眼科は、主として入院患者を診察しています。

四街道市乳児健診 健診は第4木曜日14:00から行います。健診当日は13:15~13:45までに受付をお済ませください。  
予約のお問合せは企画課(医事)窓口と電話にて受付しています。予約受付は、平日13:30~16:00までです。



独立行政法人  
国立病院機構  
**下志津病院**

〒284-0003 千葉県四街道市鹿渡934-5  
電話: 043-422-2511 FAX: 043-421-3007  
ホームページ <https://www.nsh.gr.jp/>



ホームページは  
こちらへ

第21号  
令和3年1月発行

発行責任者 重田みどり  
編集委員長 山本 重則